

2023年9月5日

## 電動フォークリフト用電池状態監視サービスを開発

「国際物流総合展2023 第3回 INNOVATION EXPO」に出展

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区 社長:吉田誠人)は、電動フォークリフト用電池状態監視サービス「withBMS(ウィズビーエムエス)」を開発。この度、9月13日(水)～15日(金)に東京ビッグサイトで開催される「国際物流総合展2023 第3回 INNOVATION EXPO」に出展します。

電動フォークリフトのバッテリートラブル発生による業務遅滞の防止、バッテリーの長期使用および交換タイミングの最適化、フォークリフトの稼働状況を確認して最適な運用を行いたいという声を受け、総物流大手の鴻池運輸株式会社(本社:大阪府中央区 代表取締役会長兼社長執行役員:鴻池 忠彦 <https://www.konoike.net>)の協力を得て同社の5つの物流拠点の様々な環境下で実証試験に取り組んできました。

約3年間の実証試験を経て、この度、蓄電池メーカーとして長年にわたり蓄積してきた技術ノウハウを基盤とした独自の電動フォークリフト用電池状態監視サービスを開発しました。

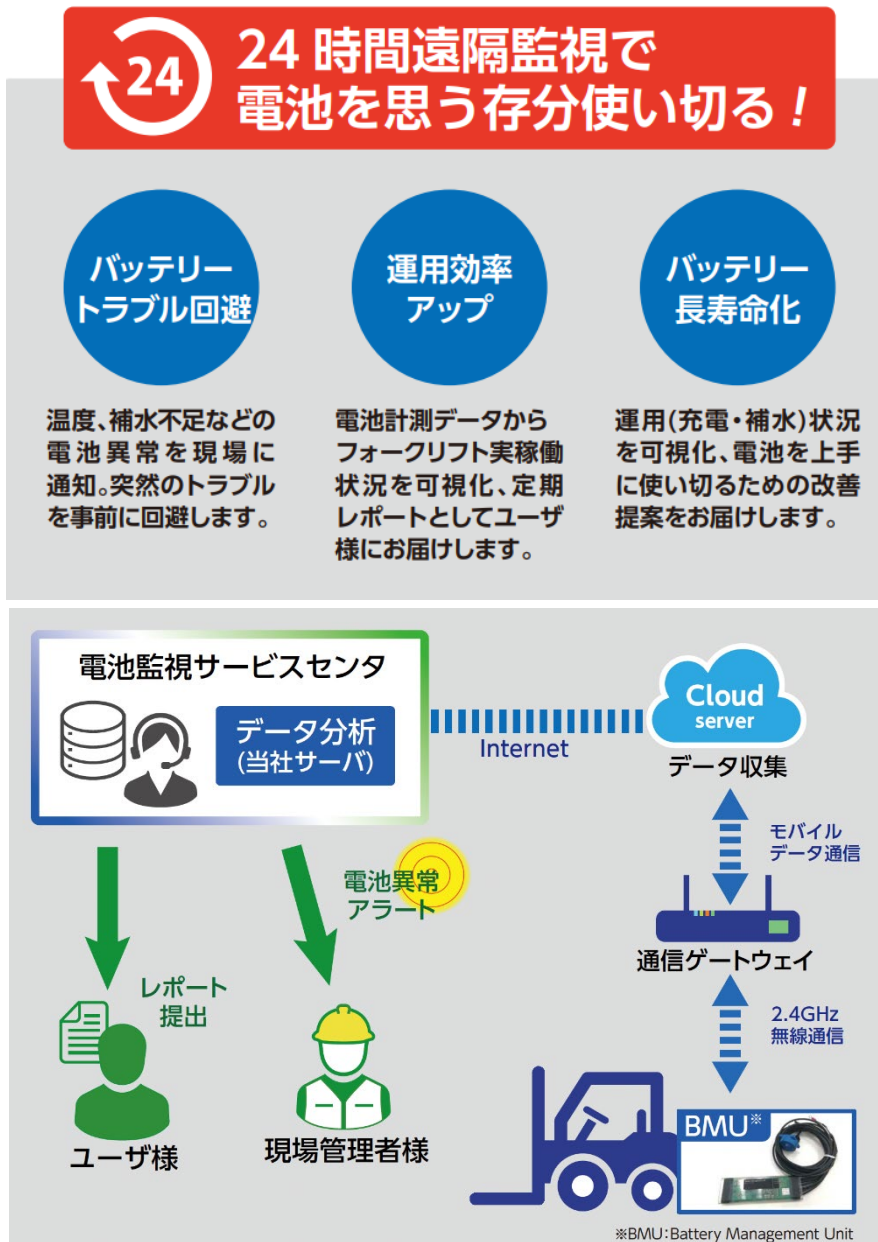
エナジーウィズは、電池状態の診断とその適切な運用アドバイスで電池パフォーマンスを最大化し、効果的なフォークリフトの運用を支援します。

\*「withBMS」はバッテリーメーカーのエナジーウィズが長年にわたり蓄積してきた技術ノウハウを基盤とした独自の電池状態監視サービスです。



ブース出展場所:西展示棟アトリウム  
ブース番号 AT-13

## 電動フォークリフト用電池状態監視サービスイメージ図



以上

エナジーウィズ株式会社は2021年12月、昭和電工マテリアルズ株式会社（現レゾナック株式会社）の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで100年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

**エナジーウィズ株式会社**

〒101-0022 東京都千代田区練堀町3 AKSビル [pr@energy-with.com](mailto:pr@energy-with.com)